

身体のゆがみとズレ

理想の身体バランスは膝の位置が左右均等でその他のすべての数値が0 mmです。数値が大きいほど理想のバランスとくらべてその部位（関節）のズレが大きい事を表します。



前面

頭部の位置：

右 に
57 mmズレています

肩の高さ：

右 肩が
1 mm下がっています

胸骨下部の位置

右 に
35 mmズレています

骨盤の高さ：

右 の骨盤が
5 mm下がっています

膝の位置：

左 膝が 右 膝より
8 mm内にズレています



後面

頭椎7番の位置：

左 に
10 mmズレています

肩の高さ：

右 肩が
1 mm下がっています

胸椎12番の位置

左 に
8 mmズレています

骨盤の高さ：

右 の骨盤が
1 mm下がっています

仙骨の位置：

左 に
4 mmズレています



右側面

頭部の位置：

前方 に
93 mmズレています

肩の位置：

前方 に
62 mmズレています

大転子の位置

前方 に
77 mmズレています

膝の位置：

前方 に
55 mmズレています



左側面

頭部の位置：

前方 に
93 mmズレています

肩の位置：

前方 に
114 mmズレています

大転子の位置

前方 に
100 mmズレています

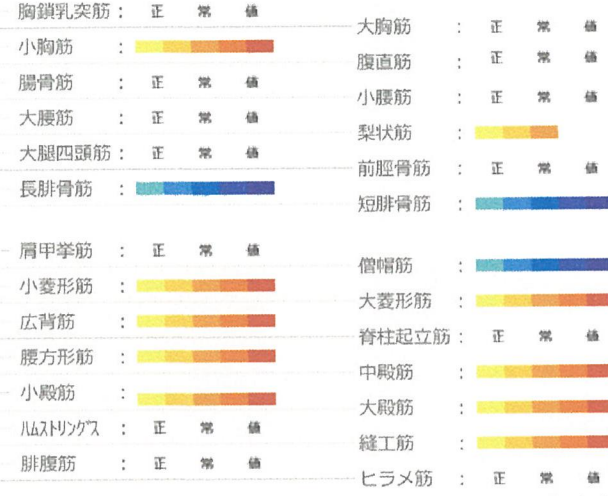
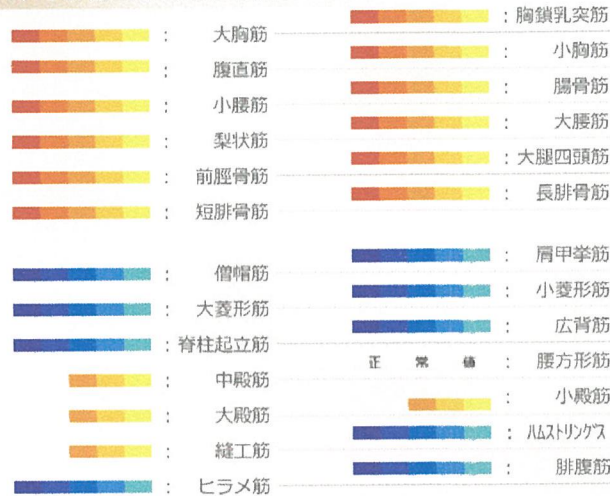
膝の位置：

前方 に
71 mmズレています

筋肉緊張の状態と緊張レベル

は短縮方向 は伸長方向の筋肉緊張を

示しており、それぞれの緊張レベルは5段階で評価されています。緊張レベルの高い筋肉から順に改善していくことが効果的です。



※ 安全に関するご注意：この評価は、医療診断または治療目的として設定されているものではありません。身体に異常のある方は医師に相談の上、指示に従ってください。

Copyright (C) 2015 B.C Lab Inc. All Rights Reserved.

筋肉・骨格のひずみの状態

2つのC.Gグラフィックは
あなたの骨格のゆがみと筋肉の緊張が顕著だった部位です。

暖色で表示されている筋肉が**硬縮緊張**
(硬くなって縮んでいる状態)を指し、

寒色で表示されている筋肉が**過伸張**
(必要以上に筋肉が引っ張られている状態)を指します。

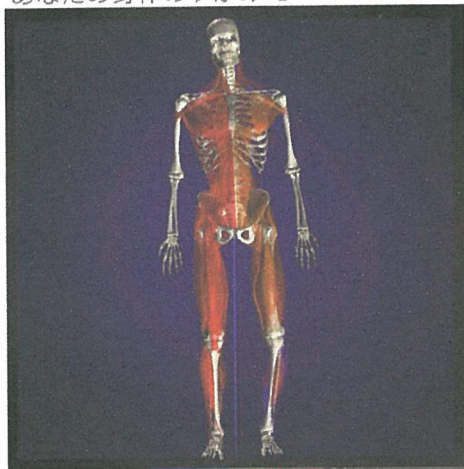
どちらも筋肉にストレスがかかっている状態です。

正常値の場合は筋肉に色がつきません。

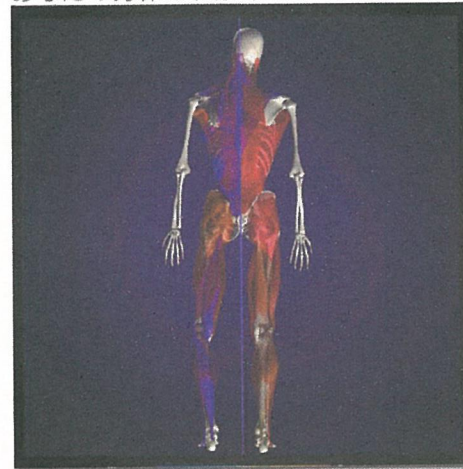
骨格も理想の状態と見比べてひずみの具合をチェックしましょう。

わからない事があれば担当者に相談してください。

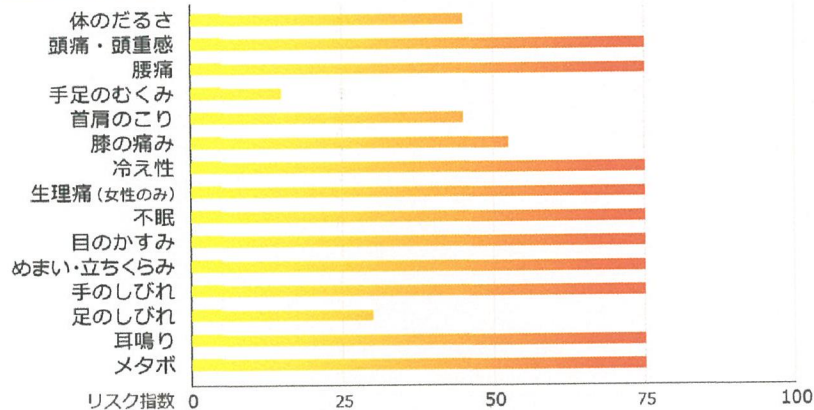
あなたの身体のゆがみ 1



あなたの身体のゆがみ 2

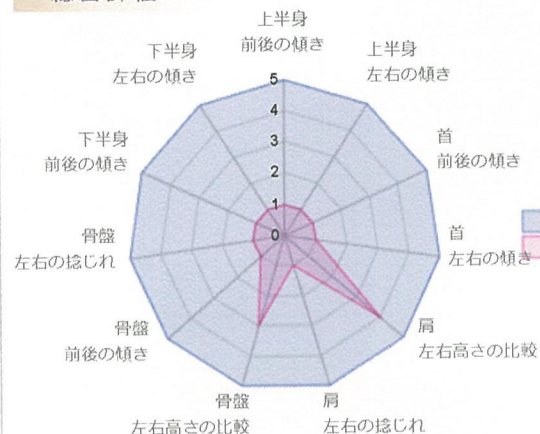


日常生活での体調不良のリスク指数



今回の測定の結果に基づき予測される体調不良の危険度をグラフで表示しています。
右の方向にグラフが伸びている症状(100に近い)ほど確率が高くなりますので
担当者と相談しながら身体のバランスを整える事を心がけましょう。

総合評価



※レベル「5」が理想形、レベル「0」に近いほどバランスが崩れていることを示しています。
担当者と相談しながら身体のバランスを整える事を心がけましょう。

姿勢評価 (10段階)

4



双葉が開きました

47

100
point

ID. 19941005

性別 男性

氏名 北村 康平

年齢 27 歳

今回 2021/12/01 22:35

前回 2021/02/03 15:30
0年9ヶ月前初回 2020/12/09 16:02
0年11ヶ月前

	初回	前回	今回	前回からの 変化	適正目標	調整値
身長	163.0 cm	163.0 cm	163.0 cm			
体重※	64.6 kg	62.2 kg	61.0 kg	-1.2 kg	61.0 kg	0.0 kg
筋肉量	50.4 kg	50.7 kg	51.5 kg	0.8 kg	46.9 kg	0.0 kg
体脂肪量	11.4 kg	8.7 kg	6.7 kg	-2.0 kg	6.7 kg	0.0 kg
					基準値	
B M I	24.3	23.4	23.0	-0.4	18.5 ~ 25.0	
体脂肪率	17.6 %	13.9 %	10.9 %	-3.0 %	10 % ~ 20 %	
					許容値	
腹 囲	78.0 cm	76.1 cm	73.0 cm	-3.1 cm	85.0 cm未満	
内臓脂肪レベル	3	2	1	-1	10 未満	

■筋肉量 内臓筋、心筋、骨格筋を含む、全身の筋肉の量のことをいい、特に骨格筋は骨に付いていて意識的な動きができ、速動、活動により大きく変われる部分の筋肉のことをいいます。

■B M I 国際的な体格指数として使われています。BMI = 体重(kg)÷身長(m)²

■腹 囲 おへそ周りの周囲長を示しています。胴体の電気抵抗を直接測定することで、メジャー測定値との近似値を実現しています。
(男性85cm、女性90cm、18歳未満は性別に関係なく80cmが許容値)

■内臓脂肪 おへそ周りを水平に切った腹部断面の内臓脂肪の多さをレベルで表しています。男女問わず10を超えると注意が必要です。

※体重は参考値です。計量法上の取引・証明用には使えませんのでご注意ください。

体重・筋肉・脂肪バランス

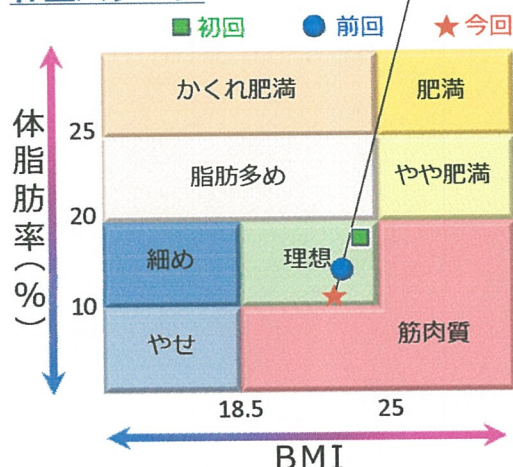
	低い	標準	高い
体 重	55% 70% 85% 100% 115% 130% 160%	49.7 kg 58.5 kg 67.2 kg	61.0 kg
骨格筋量	70% 80% 90% 100% 110% 120% 140%	24.8 kg 27.5 kg 30.3 kg	31.2 kg
体脂肪量	40% 60% 80% 100% 160% 220% 340%	7.0 kg 8.8 kg 14.0 kg	6.7 kg

あなたの体格判定は

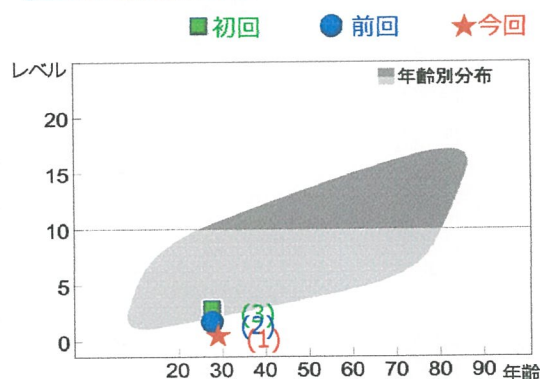
理想

体重、体脂肪率ともに標準です。摂取カロリー（飲食）と消費カロリー（運動量）のバランスがとれている状態と思われますので、今後も現在の生活パターンを維持していきましょう。

体型パターン



内臓脂肪レベル



体型分析

体成分分析

	今回	割合	評価		
			良好	不足	過多
体 水 分	39.9 kg	65.4 %			
タンパク質	10.9 kg	17.9 %	●		
ミネラル	3.49 kg	5.7 %	●		
体 脂 肪	6.7 kg	11.0 %		●	

■体水分

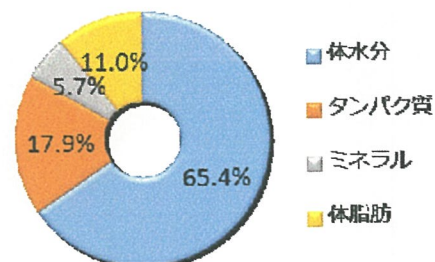
健康な方は体重の約50%~70%が水分であり、体水分は摂取した栄養素を体の細胞に届け、老廃物を外に排出する運搬の役割をします。体水分量は筋肉の量に比例しますが、疾患によって増えることもあります。

■タンパク質

タンパク質は体水分と共に筋肉を構成する主な成分です。タンパク質が足りないことは細胞の栄養状態がよくないことを意味します。

■ミネラル

ミネラルの約80%は骨にあり、人体を支持する役割をします。足りないと骨粗鬆症や骨折の危険性が高まります。(ミネラルは推定値です)



フィットネススコア ポイント表

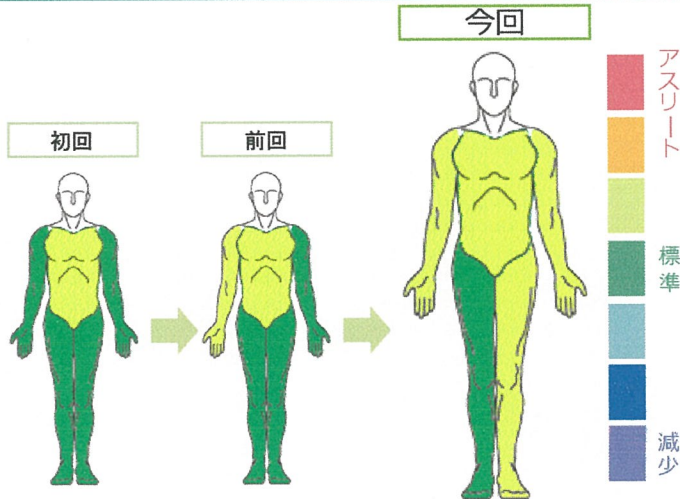
	RA	LA	TR	RL	LL
5kHz	297.6	313.2	26.6	268.7	265.4
50kHz	252.4	262.7	21.0	223.0	217.2
250kHz	223.1	230.9	16.5	195.3	189.7

	～59	60～	70～	80～	90～
生活習慣改善		運動不足	一般	優良者	スポーツ選手並

フィットネススコア

初回	前回	今回
82	84	85
		ポイント

筋肉分析



上下バランス

	発達	標準	過少
腕部		●	
脚部		●	

腕部、脚部の相対的な発達程度を表します。腕部過少は運動不足、脚部過少は筋肉衰退と関係があります。運動により改善しましょう。

左右バランス

	均衡	やや不均衡	不均衡
腕部	●		
脚部	●		

左右のアンバランスは負傷、手術、運動不足等があります。リハビリや運動により改善しましょう。

筋肉量	初回	前回	今回	前回からの変化	低い	標準	高い
					40% 60% 80% 100% 120% 140% 160%		
						2.25 kg 2.81 kg 3.38 kg	
腕	右	2.98 kg	3.05 kg	3.12 kg	0.07 kg		
	左	2.88 kg	2.96 kg	3.05 kg	0.09 kg		
体幹		23.6 kg	24.1 kg	24.3 kg	0.3 kg	70% 80% 90% 100% 110% 120% 130%	
						20.2 kg 22.4 kg 24.7 kg	
脚	右	7.93 kg	7.80 kg	8.00 kg	0.20 kg	70% 80% 90% 100% 110% 120% 130%	
	左	7.99 kg	7.89 kg	8.08 kg	0.19 kg		
						7.04 kg 7.82 kg 8.60 kg	

基礎代謝量

	初回	前回	今回	前回からの変化	低い	標準	高い
基礎代謝量						1378 kcal 1602 kcal	
	1520 kcal	1527 kcal	1544 kcal	17 kcal			

基礎代謝量とは？ 人が1日中安静にしている消費するエネルギー量のこと、除脂肪量から算出されています。基礎代謝が高いと、食べた物をエネルギーとして活発に消費できます。1日の消費カロリーの6～7割を占めていると言われています。

脂肪分析

体脂肪率 (体脂肪量)	初回	前回	今回	前回からの変化
腕				
	右	13.7 % (0.5kg)	8.6 % (0.3kg)	5.5 % (0.2kg) (-0.1kg)
	左	15.0 % (0.5kg)	9.7 % (0.3kg)	6.2 % (0.2kg) (-0.1kg)
体幹		18.4 % (5.6kg)	13.7 % (4.0kg)	9.8 % (2.8kg) (-1.2kg)
脚				
	右	17.8 % (1.8kg)	14.8 % (1.4kg)	12.3 % (1.2kg) (-0.2kg)
	左	17.7 % (1.8kg)	14.8 % (1.4kg)	12.3 % (1.2kg) (-0.2kg)

(部位別体脂肪分析は推定値です)

